

寄附講義「会社研究」令和5年度 第6回目

令和5年5月24日(水) 13時10分

講師 丸東産業株式会社 社外取締役 泉 博二 氏

テーマ：「広報で会社を変える」

本年度第6回目の寄附講座は、昭和49年3月に卒業後神戸製鋼所に入社し同社元常務執行役員をされ、現在は丸東産業社外取締役である 泉 博二先輩による、「広報で会社を変える」という講義となりました。



先ず、最初に従来の企業経営には重要3大要素である「人・モノ・金」に加えて「情報：」も重要な要素になったと述べられた。

1. 企業広報の起源：1952年にアメリカで広報活動のバイブル

として“Effective Public Relation”が出版され「組織とその組織の存在を左右するパブリックとの間に、お互いに利益をもたらす関係性を構築し、維持する万地面と寄稿」と定義された。この定義にある『パブリック・関係性・経営機能』という三つの概念が企業広報活動に於いて重要である。

2. 社内回覧・プレスリリース等主な広報の日常業務について

3. 中期経営計画・決算・人事異動等広報活動の具体例や新奇性・話題性等のニュース価値について

4. マスコミに対しては平等に対応する・正確さとスピードが重要（クイックリスポンス）等の広報活動の基本方針について

5. 経営に資する情報収集活動（広聴活動）とは

6. 企業にとってマイナスの内容を取材されることへの対応《守りの広報》について

7. 企業が起こした事件・事故・不祥事等危機管理の広報～突然のお詫び会見～について、その基本姿勢は『逃げない、隠さない、嘘つかない』に収斂されると述べられた。

8. 自然災害・法令違反（商法・独占禁止法・環境・政治等のリスクについて、特に、昨今、26種類あるハラスメントが多い

9. 最後にビデを使用して株式会社丸東産業の案内

又、学生に対しては、企業選別に際して表面的なことに捕らわれず、内面的な要素で判断して欲しいとも述べられた。



以上